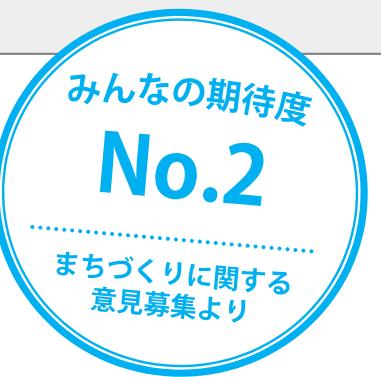


4 快適で便利な交通ターミナルをつくるプロジェクト



人が行き交い利用しやすい町田駅とするため、交通ターミナル機能の集約や広域交通機能の充実により、快適で便利な交通ターミナルづくりを行います。

プロジェクトの当面の主な取り組み

	2016.4	2017.4	2018.4
・交通ターミナル候補地の検討・基本構想の検討			
・交通ターミナルのわかりやすい案内表示の検討・実施			



プロジェクトのイメージ



プロジェクトの効果

- 乗り換えしやすい待合せしやすい分かりやすい
- 自指すこと 01 駅が快適・便利
- 自指すこと 02 まちに行く目的がたくさんある
- 自宅 ⇄ 駅
空港・他都市
駅 ⇄ まちなか
- 自指すこと 01 駅が快適・便利
- 自指すこと 02 まちに行く目的がたくさんある

プロジェクトの取り組み

快適に使える交通ターミナルづくり

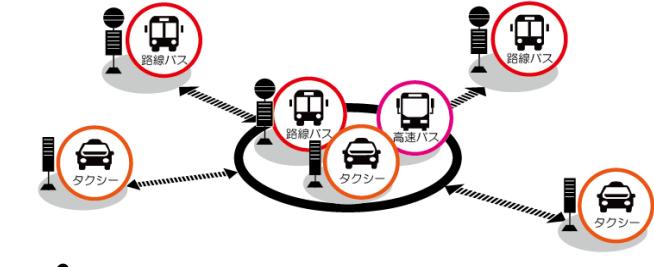
交通ターミナル機能を集約し、老若男女・国内外からの来街者などの誰にでもわかりやすく、乗り換えや待ち合わせがしやすい快適な交通ターミナルをつくります。

●交通ターミナル機能の集約

現在の交通ターミナル機能のイメージ

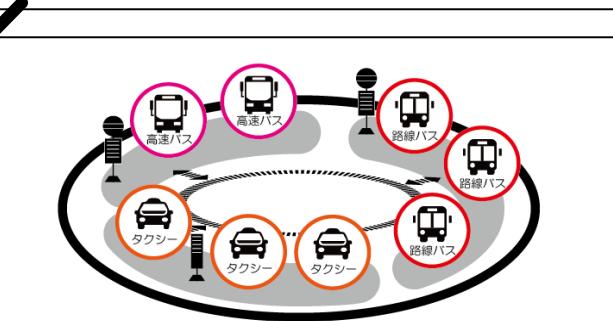
【現在の課題】

- ・空間の不足と機能の分散
- ・乗降場の位置のわかりにくさ
- ・自動車動線や歩行者動線の交錯 等



将来の交通ターミナル機能のイメージ

- 交通ターミナル機能の集約による乗り換え場所・乗り換えるルートの整理
- 交通手段（バス、タクシー、自家用車）ごとに余裕あるスペースの確保
- 目的に応じた歩行者動線の確保
- バリアフリー動線の確保
- バス停跡周辺のまちづくり

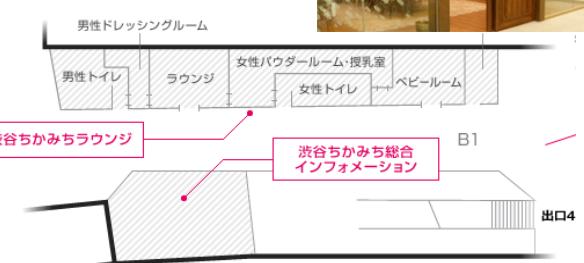


●乗場の待機スペースの快適化

快適に待機できるベンチ、売店やカフェ、授乳室や更衣室等を備えた待合室等を充実させます。



渋谷ちかみちラウンジ



様々な機能を備えた待合室／渋谷ちかみちラウンジ

●案内表示の工夫

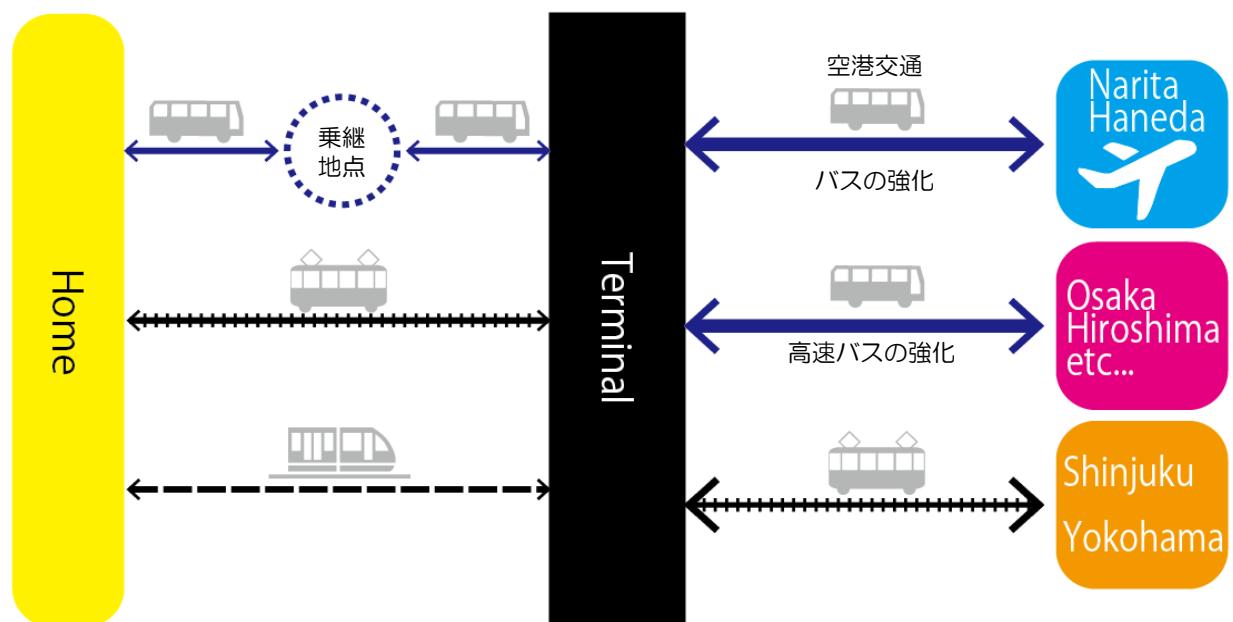
誰もが移動しやすくするため、案内表示のデザインの工夫や多言語化等を行います。
駅やまちなか、交通ターミナル間をスムーズに移動できるようにするために、各所に案内表示を設置します。



案内表示のイメージ／二子玉川ライズ

様々な場所にアクセスしやすい交通ターミナルづくり

駅に来やすく、駅から様々な場所に行きやすいアクセス性の高い交通ターミナルを目指し、自宅 ⇄ 駅、駅 ⇄ 広域（空港、他都市）間の交通体系の強化を図ります。

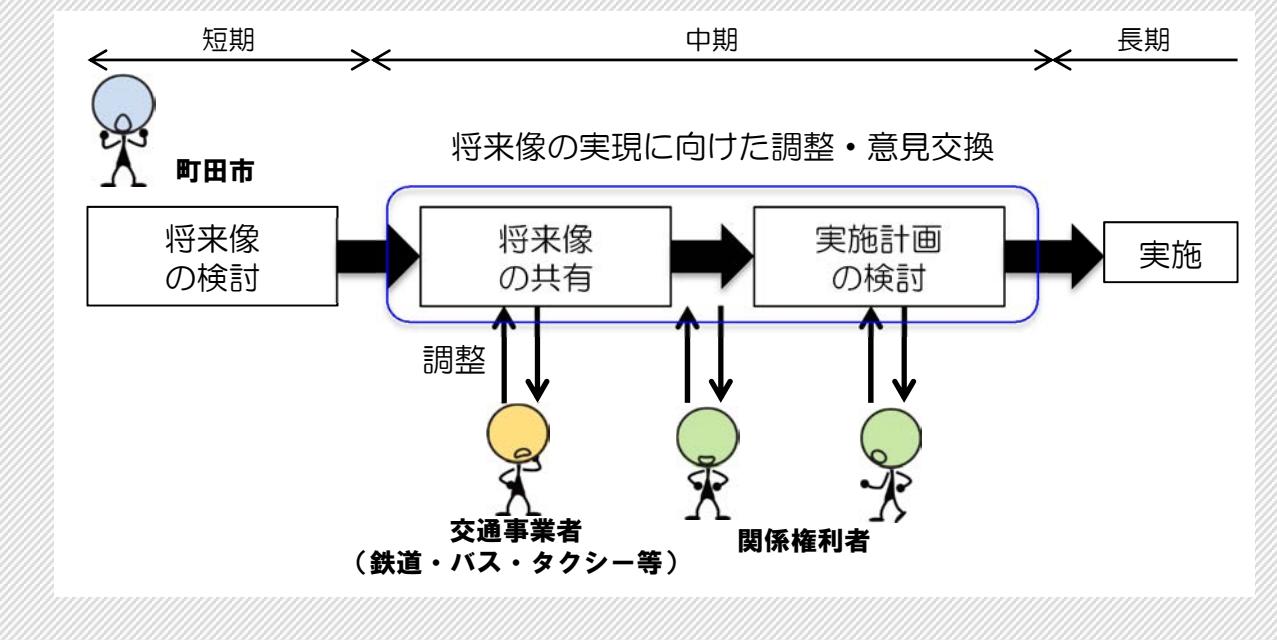


アクセス性の高い交通ターミナルのイメージ

プロジェクトの進め方

“プロジェクトの進め方”

- 町田市が将来計画の検討を行い、実施に向け、関係者と調整を図りながら交通事業者とともに実現していく



“プロジェクトの担い手”

★：期待する担い手

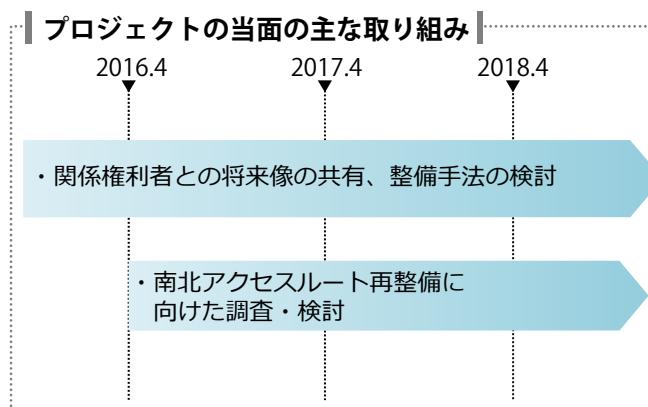
【取り組み主体】 町田市 交通事業者（鉄道・バス・タクシー等）

【関係者】 関係権利者

【町田市関係部署】 都市づくり部 建設部

5 南の玄関口 のまちづくりプロジェクト

町田駅南側から多くの人にまちなかへ訪れてもらうために、交通環境の整備やまちなかへのアクセスの強化を通じて、南の玄関口を整えます。



プロジェクトのイメージ



プロジェクトの効果

町田駅南側のイメージを刷新し、駅・まちなかに訪れたくなるような環境が整う。

→ 目指すこと
01 駅が快適・便利

駅前にふさわしい、利便性の高い魅力的な生活拠点ができる

→ 目指すこと
05 ライフスタイルの選択肢がたくさんある

みんなの声

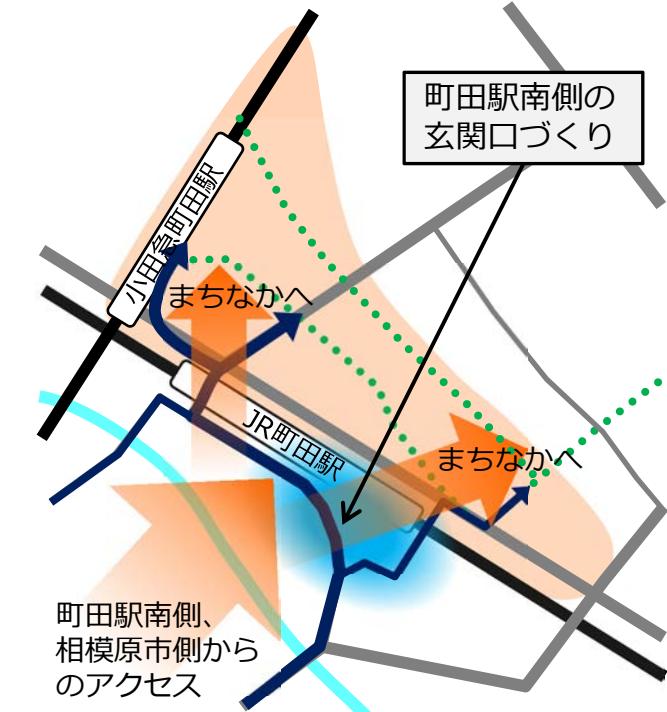
プロジェクトの取り組み

- ・緑を感じる場所がほしい
- ・美しい街並みや景観になってほしい

町田駅南側に来街者を迎える 玄関口をつくる

町田駅南側、相模原市側からの来街者の増加を目指し、町田駅南側周辺において必要な整備等を行い、南の玄関口をつくります。

- 玄関口にふさわしい駅前景観形成
町田駅南側のイメージを刷新し、南の玄関口としてふさわしい緑を感じるシンボル性ある駅前景観を形成します。
- 町田駅南側の交通広場整備
相模原市側から町田駅南側へアクセスしやすくするために、交通広場整備を推進します。
- 市営駐車場の更新
老朽化した市営駐車場の建替えにより、明るく快適で誰もが利用しやすい駐車場・自転車駐車場を整備します。



みんなの声

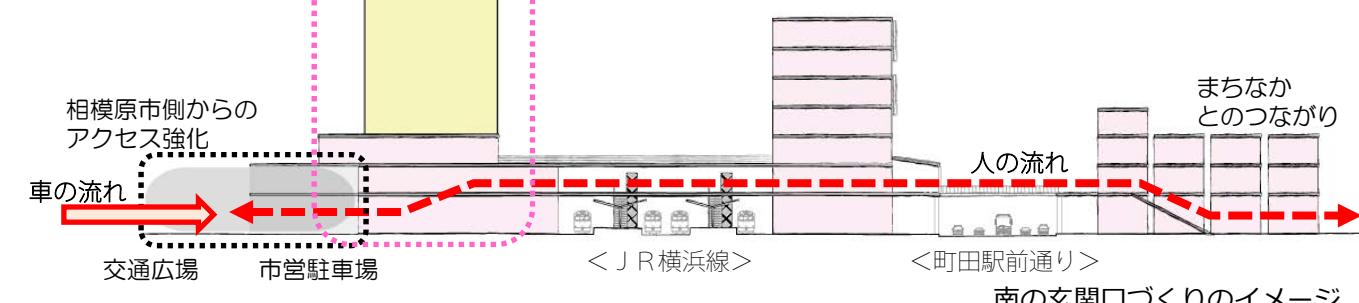
- ・ベビーカーや車椅子を快適に利用できるようにしてほしい

町田駅南側から まちなかへのアクセス強化

町田駅南側、相模原市側からの人の流れをまちなかへ引き込むため、JR横浜線をスムーズに横断できるような環境整備を行います。



南の玄関口となる
交通広場と都市型住宅の整備



駅前の生活拠点づくり

市営駐車場の更新にあわせて、市街地再開発事業^{*①}等による土地の高度利用を推進し、駅前にふさわしく利便性の高い都市型住宅や、駅前居住を支える生活利便機能を導入し、便利、快適で魅力的な町田らしい生活拠点づくりを推進します。

- 都市型住宅の整備
公共交通ネットワークやまちなかにアクセスしやすい利便性をもった都市型住宅を整備します。
 - 都市型住宅を支える生活サービスの充実
まちなかの文化・交流施設等の既存施設に加えて、駅前居住を支える便利で快適な生活サービス関連施設を誘導します。



駅前広場を含む駅直結の都市型住宅
／リズモ大泉学園

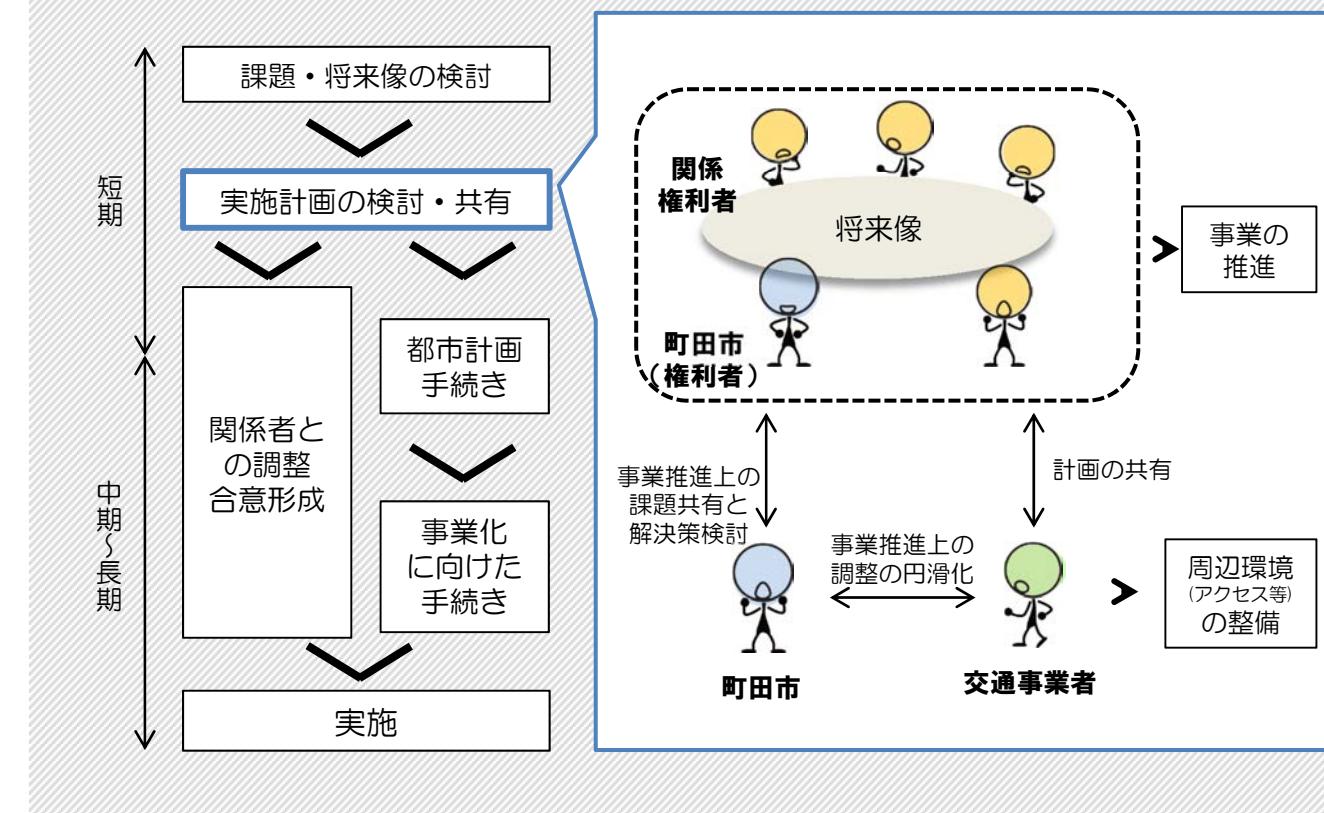


生活サービス関連施設を含む駅前都市型住宅 ／アクウェル武藏小金井

プロジェクトの進め方

“プロジェクトの進め方”

- 町田市や関係権利者が将来像の検討を行い、計画の実現に向けた調整等を行い、整備を進める



“プロジェクトの担い手”

★：期待する扱い手

【取り組み主体】 町田市 開発事業施行主体★

【 関 係 者 】 交通事業者 関係権利者

【町田市関係部署】 都市づくり部 建設部 経済観光部

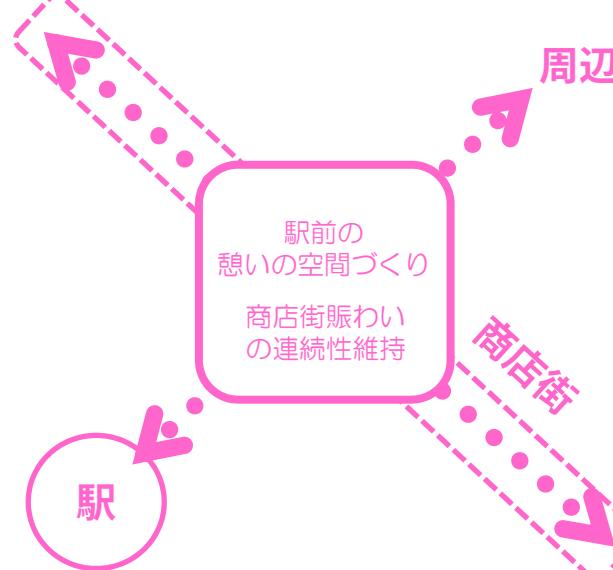
用語解説

*①市街地再開発事業：都市再開発法に基づき、市街地内の老朽木造建築物が密集している地区等において、細分化された敷地の統合、不燃化された共同建築物の建築、公園、広場、街路等の公共施設の整備等を行うことにより、都市における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ること。

6 原町田大通り 憩いと賑わい空間 を創造するプロジェクト

来街者が中心市街地でゆっくりと楽しい時間を過ごせるようにするために、原町田大通りを活用し、駅前の憩いの空間づくりや商店街の賑わいを連続させる空間づくりを行います。

プロジェクトのイメージ



プロジェクトの対象範囲



プロジェクトの当面の主な取り組み



プロジェクトの効果

駅前から、憩いと賑わいのある印象的な風景が見えるようになる

→ **自指すこと 01** 駅が快適・便利

様々な活動や賑わいが生まれ、まちに来る楽しみが増えたり、出会い・交流が増える

→ **自指すこと 02** まちに行く目的がたくさんある

商店街を連続させる憩いの空間、賑わいの空間ができ、まちで過ごす時間が増える

→ **自指すこと 04** 多くの出会い・活動が生まれる

→ **自指すこと 03** まちの魅力が向上し、ゆっくり過ごせる

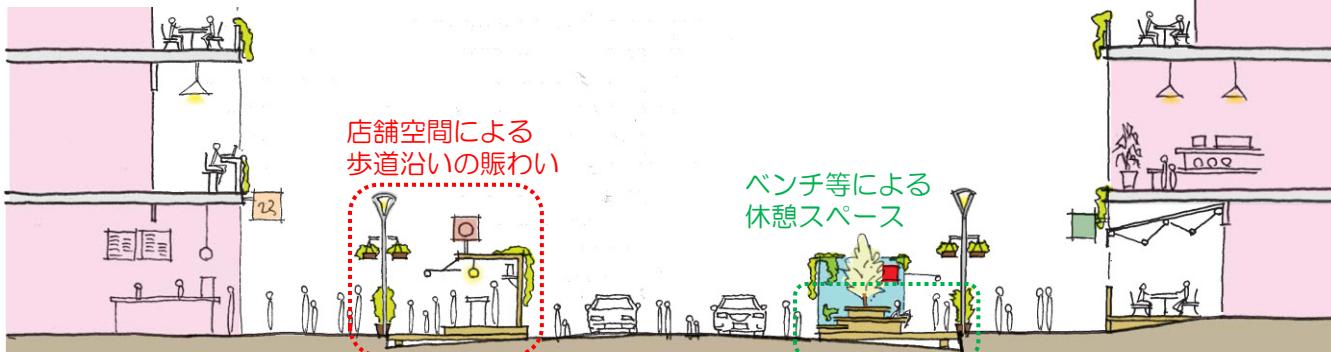
プロジェクトの目指す将来像

- ・緑や憩いの空間などがあり、快適に過ごしたい
- ・休憩できる空間がほしい

“憩い”×“賑わい”ある原町田大通り

原町田大通りを活用して新たな憩いの空間・賑わいの空間を生み出し、商店街の賑わいのつながりの強化や駅前から見える印象的な景観を形成することで、「町田の顔」に相応しい大通りの実現を目指します。

歩道沿いの賑わいを強化し、道路両側の距離感を近づけたイメージ



歩道に設置された店舗のイメージ
/札幌大通り



マルシェ^①やキッチンカーのイメージ
/東京国際フォーラム



休憩スペースのイメージ
/京都 四条通

通りの中央を開放したイメージ



歩道上の店舗空間利用イメージ
/横浜 日本大通り



道路上におけるスポーツイベントのイメージ
/日本橋



通りを解放した芝生空間のイメージ
/大阪 御堂筋

| プロジェクトの取り組み

原町田大通りを活用した 憩いの空間づくり

原町田大通りを活用して、緑豊かな景観の形成や、ゆったりと過ごせる空間づくりを行います。

- 緑豊富な景観づくり
- モノレールの導入を見据えた空間づくり
- ゆったりと過ごせる空間づくり
(広場・ベンチ・休憩場所・木陰の確保、違法駐車の改善、喫煙所位置の検討等)



みんなの声 /

・まちなかで行われるイベントやお祭りに参加したい!

原町田大通りを活用した 賑わいの創出

道路占用やイベントの実施を継続的に行うことで、駅前に新たな賑わいを創出するとともに、商店街の賑わいを連続させます。

- 社会実験→道路占用による賑わい活用の実施
- イベントの実施
- 賑わいが外に溢れ出すような沿道建物の空間づくり

<道路占用やイベントのアイデア>

- ・ 大規模なイベントの開催
音楽祭／ビール祭り／映画祭／パレード／展覧会／四季のイベント／スポーツ 等
- ・ 商店街と連携した販売イベントの開催
マルシェ^①／朝市／オープンカフェ／仮設店舗 等
- ・ 芹ヶ谷公園や美術館へ誘導する工夫
アート 等

STEP1

社会実験の実施⇒効果検証

STEP2

道路占用特例による常設

STEP3

イベントの継続実施



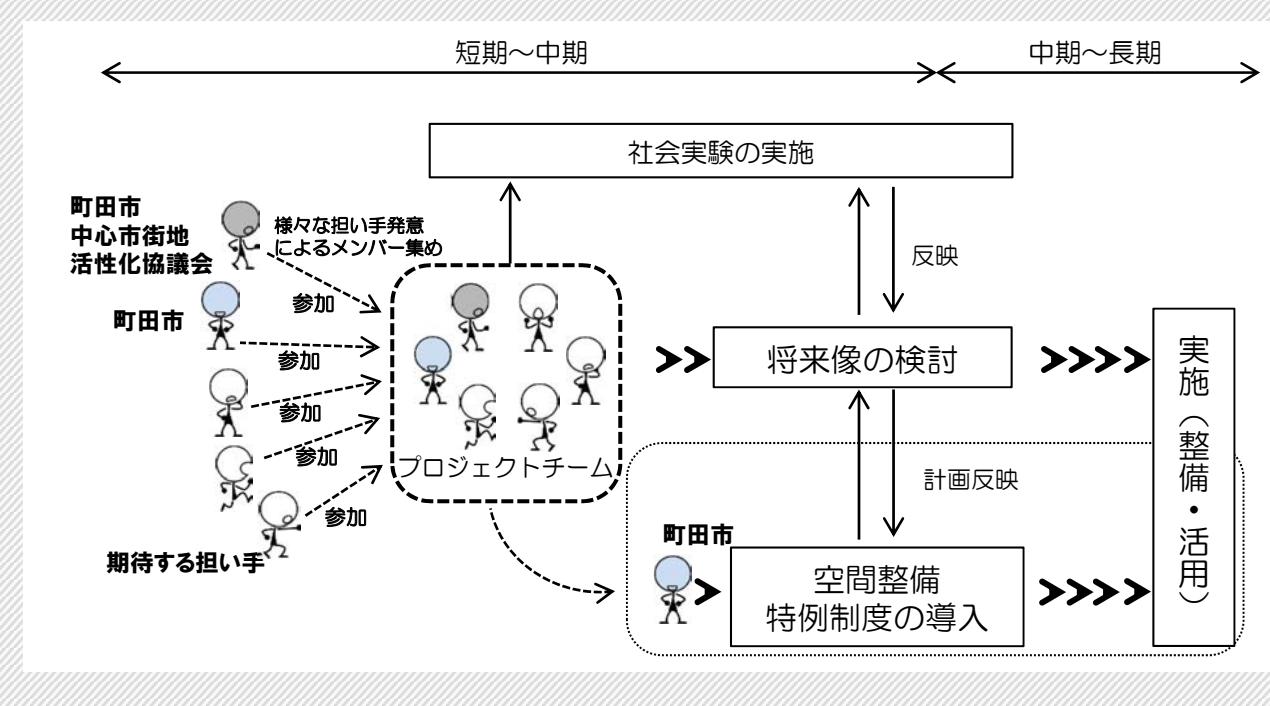
社会実験→道路占用による賑わい活用の実施イメージ

| プロジェクトの進め方

“プロジェクトの進め方”

- 町田市中心市街地活性化協議会が、様々な担い手を巻き込みながら社会実験の実施等を通じて将来像を検討する

- 町田市が、特例制度の導入や空間整備等により、取り組みを積極的に後押しする



“プロジェクトの担い手”

★：期待する担い手

【取り組み主体】 町田市中心市街地活性化協議会 公共空間活用マネジメント組織★

【関係者】 商業者★ 活動団体★ 各分野専門団体★ 学生★ 個人★ 企業★

【町田市関係部署】 経済観光部 都市づくり部 建設部

| 用語解説

*①マルシェ：ここでは、テント等を使った仮設の直売所のこと。